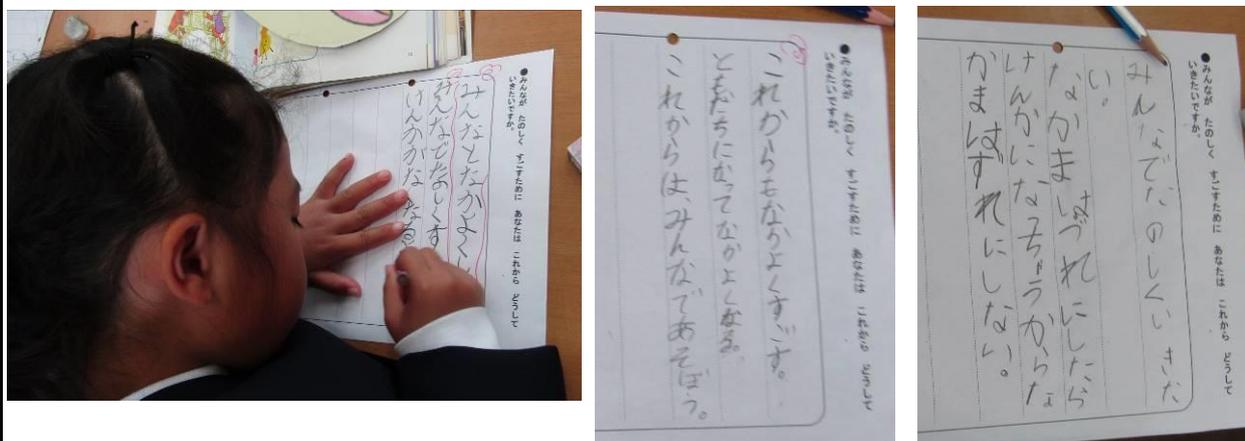


学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	南九州市立霜出小学校	児童生徒数	100人
-----	------------	-------	------

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等



道徳では、毎回ワークシートを準備し、学習したことをもとに、「これからどうしていききたいか」について自分の考えを書かせています。自分の考えをもとに、主にグループで話し合いをさせ、児童が多様な考えに触れることができるように心がけています。1年生ということもあり、自分の考えを書けたことを称賛し、意欲的に書く活動に取り組めるようにしています。

※ 授業中に撮影したものであり、誤字の指導は後日行っております。

取組についての概要（成果）

11月13日(月) 第1学年 道徳科 主題名「だれにたいしても」
 教材名「ジャングルジム」 内容項目 C(11)公正、公平、社会正義における実践

道徳の時間の「振り返り」については、毎時間ワークシートで行わせています。「これまでの自分は」「これからどうしていききたいか」の視点で、学習を通して学んだことをもとに振り返らせています。毎時間取り組むことにより、1年生であってもほぼ全員、記述による振り返りができるようになっています。授業で活用したワークシートは、後日コメントを書いて児童に返却し、ファイルに綴らせています。今回の授業では、この学習を通して「みんなで仲良く楽しく遊びたい」という気持ちが高まり、昼休みなどみんなで仲良く楽しそうに遊ぶ姿が見られました。また、授業内容によってはワークシートに書いたものをタブレット端末で撮影し、ロイロノートで担任に送って互いの意見を比べたり全体の意見を見たりするなど、ICTの活用も図っています。

今後も道徳に限らず各教科において、学習して分かったことなどを振り返って書かせる時間を設定し、児童が自身の学習を確かめることができるようにしていきたいです。